

復興に向けて農業の6次産業化を推進します！～6次産業化に向けたノウハウ習得研修会～ 【農業振興部：亘理農業改良普及センター】



熱心に聴講する参加者の皆さん

2月26日、亘理農業改良普及センター(以下、亘理普及センター)では、ハナトピア岩沼を会場に、消費者ニーズに対応した農畜産物の加工技術と販路の確保に関するノウハウの習得のため6次産業化の意向がある農業法人を対象とした研修会を開催しました。

研修会では、最初に亘理普及センターから、商品開発の考え方とマーケティング、付加価値の高い加工技術について紹介した後、6次産業化プランナーの片岡修一氏を講師として、6次産業化の概要の説明や事例紹介と「農業者の強みを気づかせる」というプランナーの役割についての講演を行いました。

また、宮城県6次産業化サポートセンター企画推進員の森谷哲也氏に

よる6次産業化に関連する補助事業などの紹介のほか、県内の食品加工企業3社による差別化が可能な加工技術(高品質な減圧乾燥および減圧濃縮と、過熱蒸気による農産物の調理加工など)の紹介と試作品の展示、試食も行いました。

参加者からは「加工技術に関心があるが導入には専門的な技術提供などのサポートが必要」との意見が出されました。亘理普及センターでは今後も6次産業化の推進のために、加工業者、サポート機関との連携や商品開発に関する技術支援、情報提供を行っていきます。



加工企業による試作品の展示

毎月第3水曜日は「みやぎ水産の日」!

【水産漁港部】

宮城県では、県内の水産物、水産加工品の消費拡大を進めて東日本大震災で大きな被害を受けたみやぎの水産業の復興を支援するため、昨年11月から毎月第3水曜日を「みやぎ水産の日」に定め、県内水産物、水産加工品のおいしさを県民の皆さんにPRする取り組みを行っています。

水産漁港部では、これまで「みやぎ水産の日」に合わせてスーパーでの店頭PRやチラシ配布などでみやぎの水産加工品の情報を発信してきました。

仙台地域には複数の魚市場があり新鮮な魚介類が水揚げされ、海の幸のおいしさを新鮮なまま味わえる場所が多くあります。また、水産加工場も多いことから加工品も豊富です。

ぜひ「みやぎ水産の日」には宮城県の水産物、水産加工品を食べて、みやぎの水産業の復興を応援してください。



スーパーでのPR風景

松島発、「金のいぶき」商品開発が始動しました

【農業振興部：仙台農業改良普及センター】

3月20日、松島町文化観光交流館を会場に、松島町の生産者、加工業者、観光関係者、関係機関など約30人が集まり「金のいぶき」加工試作品の試食検討会が開催されました。

金のいぶきは、宮城県古川農業試験場が開発した水稻の品種です。胚芽が大きくGABA(※)含有量が高い、粘りがありおいしいなどの特徴があり、発芽玄米として食べるのに向いたお米として注目されています。松島町の(有)セントラルライス中通では金のいぶきを2年前から生産していますが、主に米油の原料として出荷しており、米油原料の米ぬかを除去した後の白米部分の有効利用が課題となっていました。そこで仙台農業改良普及センター(以下、仙台普及センター)で加工業者のマッチングの推進などを通じて生産者の商品開発を支援してきた結果、数種類の商品を試作するに至り、この試食検討会開催につながりました。

試食検討会では金のいぶきのシフォンケーキ、焼き米麺、麴(こうじ)を使用した甘酒や漬物などの試食、参加者同士の意見交換のほか、米油製造業者の三和油脂(株)山口専務を講師に金のいぶきの活用の可能性についての講演を行いました。意見交換では「金のいぶきの活用は松島観光振興にもつながる。ホテル、飲食店と連携した取り組みに期待する」「新規需要米として栽培に取り組み、安定供給を図りたい」「地産地消の観点から学校給食での提供につなげたい」などの意見が出され、今後も取り組みを進めることが確認されました。

仙台普及センターでは今後も松島の立地条件を活かした地域内連携を推進し、金のいぶきの加工品の開発と販路拡大を支援していきます。



試作品(『金のいぶき』焼き米麺)の試食

※アミノ酸の一種。ストレス抑制効果があるとされている。

農地整備事業「小川地区」の完工記念式典が開催されました

【農業農村整備部】



完工記念式典での
名取土地改良区理事長のあいさつ

3月23日、農地整備事業「小川地区」の完工記念式典が岩沼市の竹駒神社参集殿を会場に開催されました。

岩沼市と名取市の市境に位置する本地区は、地盤が弱いことに加えて幅の狭い農道や用排水兼用の土水路などが障害となって大型機械の導入などができず農業経営の効率化、近代化が進みにくい状況にありました。

農業農村整備部では平成13年度から、本地区の将来の地域農業の担い手育成や農地の利用集積促進を目指して160.3haの農地を対象に1ha標準の区画整理工事及び水路



整備後の農地

のパイプライン化、排水路、農道、暗渠(あんきょ)排水(※)などの整備を開始し、13年の歳月を経て工事が完了しました。今後は、整備された農地において担い手農家へ農地の集約を図り、効率的な農業生産を目指します。

※農作業及び水田の畑地化をしやすくするため、地中に排水管や粉殻を埋め、地表水や地下水を排除する施設

名取市「閑上さいかい市場」，がんばる商店街 30 選に認定！

【地方振興部】



佐々木名取市長（右）、小島名取市商工会長（左）に
受賞を報告した相澤会長（中央）

3月27日、経済産業省の選定する「がんばる商店街 30 選」(※)が公表され、宮城県で唯一、名取市の「閑上(ゆりあげ)さいかい市場振興会」が選定されました。

同振興会が運営する「閑上さいかい市場」は事業の「再開」と地元の人々の「再会」の願いを込めて東日本大震災後の平成24年にオープンした、飲食店、土産店など約30店が並び仮設商店街です。さいかい市場では閑上の特産品を活かしたイベントの開催、ご当地グルメ「閑上たこ焼き」の販売再開など、閑上地域の誘客促進や独自文化の継承に取り組んできました。

こうした市場全体の被災事業者が協力して経営再建と地域のにぎわい創出を目指す体制が評価され、今回の選定に結び付きました。

振興会の相澤会長は、さいかい市場の連携について「市商工会やボランティアの後押しが力になったのはもちろん、各業者の再起にける強い思いが商店街を結束させた」と振り返り「多くの支援に感謝しながら今後も互いに支え合い、一日も早い本格復興を目指して頑張りたい」と話します。さいかい市場では、閑上の赤貝、笹かまぼこ、地酒などの特産品が盛りだくさん。また、毎月最終土曜日には「お買い物得市」を開催して賑わっていますので、ぜひ「がんばる」閑上さいかい市場にお越しください。

※経済産業省が、地域の特性・ニーズを把握し創意工夫を凝らした取り組みにより地域コミュニティの担い手として商店街の活性化や地域の発展に貢献している商店街を選定したものの。

閑上(ゆりあげ)さいかい市場(名取市美田園7-1-1)

営業時間／午前10時～午後7時 定休日／毎週水曜日(一部店舗により異なります)

問 022-382-3236(名取市商工会) 名取市商工会 HP: http://natori.in-shoko.com/saikai_ichiba/

安全で美味しい山の恵み「県産原木しいたけ」をみやぎの食卓へ

～ 仙台市と大和町の生産者が出荷を再開しました！ ～

【林業振興部】



放射能低減化作業風景

私たちの食卓でおなじみのキノコの一つ「しいたけ」。その中でもコナラやクヌギなどの原木で育てる「原木しいたけ」は、しっかりとした食感と濃厚な味わいが特徴でミネラル豊富な健康食材として古くから愛されてきました。

しかし、福島第一原子力発電所放射能事故の影響により、仙台地域では、平成24年4月27日から露地栽培(※)の原木しいたけに対して出荷制限指示が出され、以降3年近く5市町村(仙台市、名取市、大和町、富谷町、大衡村)において出荷制限が続いています。

林業振興部では、一日も早い出荷再開を実現するため研修会や現地検討会を通して、生産者や関係団体、市町村と協力して、仙台地域の13人の

生産者が安全な原木露地栽培しいたけを生産・出荷できるよう、制限解除に向け様々な取り組みを進めてきました。

その結果、2月18日には仙台市で2人、大和町で1人の生産者に対して県内2例目となる“出荷制限解除指示”が出されました。これを受け仙台市や大和町では、生産者・JA・市で構成する「露地栽培原木しいたけ生産推進協議会」が設立され、出荷制限が解除された原木しいたけの安全性を示すシールの作成などが行われています。

【次ページへ続く】



原木露地栽培しいたけ



出荷制限解除標示シール
(左：仙台市，右：大和町)

皆様も、スーパーや直売所で標示シールが貼られた原木しいたけを見かけた際には、購入して食べてみてはいかがでしょうか。

安全で美味しい宮城の山の恵み「県内産原木しいたけ」をもっと食卓に届けられるよう、これからも出荷再開に向けた取り組みを進めていきます。

※野外でしいたけを発生させる栽培方法。

仙台地域 おすすめ情報 ■いちご狩り (巨理町・山元町)■

(ご来場の際は、事前に各問合せ先へ連絡をお願いします／料金：30分間食べ放題)

①JA みやぎ巨理吉田観光いちご園(巨理町長瀬字稲荷前 45-10) ☎0223-34-9471
時間／10:00～16:00(最終入園 15:30)毎週月曜定休
料金／【1/10～5/6】 ¥1,500(小学4年生以上), ¥700(4才～小学3年生)
【5/7～6月中旬】 ¥1,300(小学4年生以上), ¥600(4才～小学3年生)
品種／とちおとめ

②いちごランドこうちゃん園(巨理町長瀬字西谷地 116) ☎0223-34-4571
時間／9:00～15:00(最終入園 14:30)毎週火・水曜定休
料金／【～5/6】 ¥1,500(小学4年生以上), ¥700(4才～小学3年生)
【5/7～5月末】 ¥1,300(小学4年生以上), ¥600(4才～小学3年生)
品種／もういっこ

③山元町農産物直売所「夢いちごの郷」(山元町浅生原字下宮前 94 番地 1)☎0223-37-1115
時間／10:00～15:30
料金／【～5/6】 ¥1,500(小学4年生以上), ¥700(4才～小学3年生)
【5/7～6月中旬】 ¥1,300(小学4年生以上), ¥600(4才～小学3年生)
品種／とちおとめ

④山元いちご農園(山元町山寺字稲実 60 番地) ☎0223-37-4356
時間／10:00～16:00
料金／【4/1～6月中旬】 ¥1,300(小学生以上), ¥500(3才～5才)
品種／とちおとめ, もういっこ, べにほっぺ

⑤GRAいちごパーク(山元町山寺桜堤 50 番地) ☎0223-37-9634
時間／10:00～17:00
料金／【5/1～6/15】 ¥1,300(10才以上), ¥600(4才～9才)
品種／とちおとめ

URL： ①② 巨理町観光協会 HP： <http://www.datenawatari.jp/index.php?id=78>
③④⑤ 山元町 HP： <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/soshiki/13/2809.html>

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！
問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部(担当：山本) TEL:022-275-9140 FAX:022-275-0296
(E-Mail) sdsinbk2@pref.miyagi.jp (HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>
※次号は6月下旬発行予定です。